



群馬大学 (群馬県)



小中学校の教員養成、学校教育制度、地域の特徴を生かした実践的指導・教育方法を学べます。

◇大学紹介

○大学の概要

群馬大学は、東京から北西に約100 kmに位置し、共同教育学部、社会情報学部、医学部、理工学部、生体調節研究所、附属図書館、医学部附属病院、国際センター等の各部局から構成されている。

学部の教育、研究を基礎として、大学院及び専攻科が設置されており、教育学研究科（修士課程、専門職学位課程）、社会情報学研究科（修士課程）、医学系研究科（修士課程、博士課程）、保健学研究科（博士前期課程、博士後期課程）、理工学府（博士前期課程、博士後期課程）の5研究科及び特別支援教育特別専攻科が置かれている。

共同教育学部は、グローバルに物事をとらえながら、未来社会を支える人間を育成するために、人間の発達と成長を主な対象として教育の目的、方法、内容などについて理論的・実践的な教育・研究を進めている。共同教育学部には、教員養成を主たる目的とする学校教育教員養成課程があり5系・13専攻に分かれながら、深い専門性と実践的な指導方法を身に付ける。

2019年5月1日現在で、学生数は下記のとおり。

学部学生：5,111人（教育学部：944人）

大学院学生：1,284人（教育学研究科：76人）

○国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受入れ実績

2019年度：257人 2019年5月1日現在

2018年度：280人 2018年5月1日現在

2017年度：247人 2017年5月1日現在

・過去3年間の教員研修留学生の受入実績

2019年度：4人（インドネシア、チリ、

ケニア、ジンバブエ）

2018年度：1人（中国）

2017年度：1人（インドネシア）

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

群馬大学では、小中学校の教員養成、学校教育制度、地域における多文化共生に関することを専門的に学ぶことができる。研修生は、専攻やキャリアに応じて、適切な研究室に配属され、教師を目指す学生とともに高い専門性と実践的な指導方法を学ぶ。

○受入定員 17人

○研修コースの概要

・日本語教育

2021年4月から専門分野で円滑に研究活動が行えるよう、初中級レベル（日本語能力試験N3級合格レベル）の学習者を対象に集中日本語コースを開講する。開講期間は2020年10月から2021年2月まで、週5日間、16週間である。N3レベルに満たない学生を対象とした日本語コースは、共同教育学部のある荒牧キャンパスでは開講しない。

なお、上記集中コース終了後、更に日本語能力を高めるために、学部留学生を対象に開設されている日本語科目を受講することができる。

・専門教育

留学生が希望する研究テーマを考慮して、指導教員が責任を持って個別指導を行う。指導教員による授業、ゼミを受講することが求められる。なお、希望すれば研究分野以外の講義等の受講も認める。またチューター制度を活用することができる。

英語による授業は行っていないが、講義、演習、個別指導、生活面での助言等で英語を補助的に使う場合がある。

・見学・地域交流等の参加型科目、その他

受入研修生の身分は研究生であり、単位の認定は行わない。教育学部附属学校（幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校）への訪問、実習見学など学内外での活動も行われる。全学の留学生を対象とした実地研修旅行や、小学校での国際理解の授業の参加など各種の交流行事がある。

◇修了生へのフォローアップ

SNSサイトで本学の国際交流に関する情報提供を行うほか、修了生の近況把握にも努めている。また、本学のアカウントを起点に、修了生たちがサイト内外で交流することも期待している。修了生から本学教員への質問などにも対応する。

◇宿 舎

○宿舎数

・単身用 23 室（前橋のみ）

・夫婦用 なし

・世帯用 なし

○宿舎費 5,900円/月 ○共益費1,600円/月

○保証料入居時 20,000円

○宿舎設備・備品

部屋の面積は15 m²、バス、トイレ、台所あり。備品は机、ベッド、冷蔵庫、エアコン、クローゼット、電話

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

近隣に大型スーパーあり。大学までは4キロ離れており、自転車30分で通学可能。

上記宿舎は満室の場合が多く、入居できない場合には、大学付近の民間アパートを紹介する。民間アパートの部屋代は30,000円程度。冷蔵庫、洗濯機など大型の生活必需品は備えてある。大学まで徒歩5分程。近くに食料品・生活用品店、郵便局、コンビニエンスストア有。

◇問合せ先

大学所在地 群馬県前橋市荒牧町4-2

担当部署 国際課

連絡先 TEL +81 27 220 7637

FAX +81 27 220 7630

E-MAIL g-exchange@jimu.gunma-u.ac.jp

ホームページアドレス

(大学) <http://www.gunma-u.ac.jp/>

(国際センター)

<http://www.guic.gunma-u.ac.jp/>

大学名：群馬大学(大学番号11)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

| 受入研究科等名 | 教育学研究科 | | | | | | |
|---------|----------------------------|--|-------------|---|------------|-------|---|
| コースコード | 教員名 | メールアドレス | 分野 | 研修の内容* | 使用言語 | 受入可能数 | 当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数) |
| 11001 | 小林 英樹 教授 | hidekoba@gunma-u.ac.jp | 現代日本語学 | 国語教育 [日本語の語彙・文法] | 日本語 | 1人 | 授業に参加するのに十分な日本語能力(読み、書き、話し、聞く力)を備えていること、大学において希望する専門分野を学んだ者 |
| 11002 | 豊泉 周治 教授 | toyoizm@gunma-u.ac.jp | 社会学 | 社会科教育 [教育社会学] | 日本語 | 1人 | 日本語能力、大学卒 |
| 11003 | 澤田 麻衣子 准教授 | sawada.maiko@gunma-u.ac.jp | 数学教育学 | 数学教育 [数学科教育の理論と実践、指導法などについて学ぶ] | 日本語・英語 | 1人 | 日本語又は英語能力、大学卒 |
| 11004 | 小泉 健輔 講師 | k-koizumi@gunma-u.ac.jp | 数学教育学 | 数学教育 [数学教育学の理論と実践、指導法や教材の開発] | 日本語 | 1人 | 日本語能力、大学卒 |
| 11005 | 佐野 史 教授 | fsano@gunma-u.ac.jp | 植物学 | 理科教育 [植物学] | 日本語 | 1人 | 日本語での日常会話に支障ないこと、学部(該当分野)卒相当 |
| 11006 | 菅生 千穂 准教授 | c-sugo@gunma-u.ac.jp | 音楽教育・器楽 | 音楽教育 [音楽教育学の理論と実践、管弦打楽器、和楽器(箏)] | 日本語 | 1人 | 日本語または英語での日常会話能力、大学卒 |
| 11007 | 林 耕史 教授 | havashi@gunma-u.ac.jp | 彫刻 | 美術教育 [彫刻 木彫・塑造] | 日本語 | 1人 | 日本語能力、大学卒 |
| 11008 | 木山 慶子 教授 | kkiyama@gunma-u.ac.jp | 体育科教育学 | 体育科教育 [体育科教育学の理論と実践] | 日本語 | 1人 | 日本語での日常会話に支障ないこと、学部(該当分野)卒相当 |
| 11009 | 小林 陽子 准教授 | kobayo@gunma-u.ac.jp | 家庭科教育 | 家庭科教育学 [家庭科教育学の歴史] | 日本語 | 1人 | 日本語能力、大学卒 |
| 11010 | 渡部 孝子 教授 | wat@gunma-u.ac.jp | 英語・日本語教育 | 英語教育 [年少者への英語教育] 日本語教育 [外国語としての日本語教育] | 日本語・英語 | 1人 | 英語能力又は日本語能力、大学卒 過去5年間の受入実績: 2名(タイ, インドネシア) |
| 11011 | 音山 若穂 教授 | otoyama@gunma-u.ac.jp | 発達社会心理学 | 児童期から青年期の対人関係 | 日本語 | 1人 | 日本語能力、大学卒 |
| 11012 | 任 龍在 准教授 | lim@gunma-u.ac.jp | 特別支援教育・国際協力 | ・特別支援教育(理論、実践、指導法などについて学ぶ)・国際協力(ベトナムをはじめ、途上国支援について学ぶ) | 日本語・英語・韓国語 | 2人 | 日本語、英語、韓国語のいずれかが話せる方、大学卒 |

* []は代表教員が実施する研修内容。その他の研修内容等については別途照会すること。 E-mail: g-exchange@jimu.gunma-u.ac.jp